

創立 1980年10月8日



# ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0024 堺市堺区向陵中町2丁5-10 杉本ビル5-B・Tel: (072) 255-1200 番

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 PANTARON Tel: (072) 228-3988 番 (魚太郎直通電話)

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : [snrc@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:snrc@jasmine.ocn.ne.jp)

ガバナー(第2640地区) 久保治雄(クボ ハルオ)

ガバナー事務所 URL : <http://www.rid2640g.org/kubo/>

E-mail : [kubo-2013@rid2640.org](mailto:kubo-2013@rid2640.org)

会長: 城岡陽志 幹事: 中川 澄 広報委員長: 池田茂雄 編集者: 綿谷伸一

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

## 本日の例会

2014年5月23日(金)第1615回

「第3回次年度の為のクラブアッセンブリー」

今週の歌 「我等の生業」

「浜千鳥」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

今週の歌「浜千鳥」

青い月夜の 浜辺には  
親を探して 鳴く鳥が  
波の国から 生まれでる  
濡れたつばさの 銀の色

## 次回の例会

2014年5月30日(金)第1616回

卓話 「未定」

## 前回の例会

2014年5月16日(金)第1614回

卓話 「私の食えない時代」

卓話者 藤永 誉 会員

今週の歌 「四つのテスト」

「みかんの花咲く丘」

「堺北ロータリーの歌」

お客様の紹介 鶴 啓之様

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○皆出席表彰(5月度)

該当者なし

<5月16日(金)の出席報告>

会員数(会員31名・準会員1名) 32名

出席会員 23名

欠席会員 9名

ゲスト 0名

ビクター 1名

4月4日(金)の出席率 83.87%



2013-14年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

国際ロータリー会長 ロンD.バートン(ノーマン・ロータリークラブ)

## 「私の食えない時代」

藤永 誉 会員



今、こうして生きさせていただけているということは、無条件で食わせていただいた両親をはじめ食うための生き方、知恵や知識を教えていただいた周りの全ての人に感謝します。

両親は、僕が小学校の頃から共働きでいわゆる「鍵っ子」でした。パンツのゴムに鍵を通して輪っかにしたものを首から吊り下げて学校に通っていました。そのため、毎日夕方までは、ほったらかしにしてくれていました。今になっては、これが良くも悪くもあり良かったのは、自分で自分の過ごし方を考えるようになれました。この「過ごし方」に勉強という選択肢を見つけられなかったのでそちらは、ちょっと弱めになっております。

食うための生き方の勉強の場として、色々なアルバイトをさせていただきました。そこでいろんな人と出会いいろんなことを教えていただきました。今までのバイトが、今このように役立っている（活用できているかは別として）のを振り返ってまとめてみたのは、初めてなので今回、この「食えない時代」のテーマをいただいて良かったです。城岡会長ありがとうございます。

まず、最初のバイトが、高校生のときに近所のカラオケ喫茶に自給500円で雇っていただきました。ここでは、おいしいコーヒーの淹れ方、軽食の作り方はもちろん、カラオケをしに来る年配の方々との交流のしかたを教えてもらいました。これは、後の旅行会社に勤めた時に結構役にたちました。

次のバイトが自給620円のレストランの厨房。

最初の半年は、皿洗いのみ。たかが皿洗いですが奥が深い。一生懸命なんでもやると楽しくなるというのは、この時、感じました。半年後、厨房で才能を発揮しました。今でも道を間違えたかな？と思うときがあります。料理を作る段取りがとても楽しく感じます。夜中までの仕事でしたので、1年半でやめさせていただきました。

その次が今のタカラトミーという玩具メーカーの合併前のTOMYで、ミニカーのトミカや電車のプラレールが有名です。自給は、800円でした。展示会の出展なんかも経験させていただきました。といっても展示会中TOMYの新作おもちゃで遊んでいるだけでしたが・・・メーカーの採用でなれば高島屋の販売もさせていただきました。高島屋では、スーツの着方、接客、包装などの表の面と裏の「大人の世界」を勉強させていただきました。派閥、男女関係、大人の嫌なところがいっぱいありました。

僕の人生に大きな影響を与えているバイトの最後は、沖縄県の宮古島でのスキューバダイビングのガイドです。月給が20000円でした。沖縄に行く前に入った生命保険代17770円を払うためとタバコ代だけの月給でした。もちろん住み込みで1日3食たべさせていただいたのでほかに使うところがなかったので十分でした。ここでは、ダイビングの技術と物理の楽しさ、人の命の大切さと環境への配慮を勉強させていただきました。

その他に、クロネコの宅急便（月給40万）やガードマン、イベントの設営、など、バイトをしているときは、沖縄以外は、家でご飯をたべさせてもらっていたので、生活には、困りませんでした。今までで一番「食えない」時は、太陽パーツに居た時で、離婚の精神的ダメージを酒でまぎらわしていたころ、給料日前の10日間は、マカロニだけで過ごした時がありました。マカロニは、500円で2kg入っていて、ゆでるとスゴイ量にな

るので助かりました。今日は、マヨネーズ和え、明日はケチャップ炒めとバリエーションも豊富で美味しかったです。

振り返ってみると、幸運の星の下にいさせていたでいるように思います。

## 会長の時間

### 「ロータリーソング」

副会長 綿谷 伸一



ロータリーにおいて、「歌を歌うということ」、を始めた人は、1905年にロータリーが創立したとき、最初に会員となった「ポール・ハリス」と「シルベスタ・シール」、「ハイラム・ショーレー」、「ガスターバス・ローア」の4人に次いで、5番目にロータリーに入った人、ハリー・ラグルスです。しかし、今世紀初頭の欧米では「歌を歌うこと」「コーラスすること」は、人々のごく一般的な風潮でしたから、彼が特に変わった趣味をもっていた、というわけではありません。

1905年のある秋の夜、例会で一時的な静寂が訪れた。会話のざわめきが突然止んだ。警告もなく、ハリー・ラグルスが自ら立ち上がって「おい、みんな、歌おう！」と当時流行っていた歌を何曲か音頭を取って歌った。以来、例会での合唱は、ロータリーの伝統となった。

これが、ロータリーの例会で歌を歌った最初のシーンです。このとき歌われたのは、当時の流行歌でした。

さて、ロータリー誕生後2年目には、ささいな意見の相違がだんだん大きくなり、クラブ内が割れ、出席率も低下するという事態が起こったようです。そこで、当時シカゴロータリークラブ（RC）の幹事であったウィルR. ネッフ医師が、ハリー・ラグルスと協議しました。「これがもう1か月も続けば、クラブは解散してしまうだろう」とネッフは悲しそうにハリーに言い、続けて「私は、君が毎週立ち上がって楽しく歌うことにしたらどうか、と思う」と言った。

その結果、ハリーの指揮による歌声が、毎回クラブの例会で響くようになり、いつのまにかクラブの中の雰囲気は改善され、シカゴRCは解散の危機を脱していたそうです。歌が、人々の心を結んだのです。

日本のクラブでは、ほとんど歌を歌っているようですが、海外に行けば、例会で歌を歌う慣習のないクラブもあるようです。ガバナーエレクトがガバナー就任前に参加する国際協議会という研修会では、本会議の前にロータリーソングを歌う時間があります。歌には、少しその場が和み、人々をリラックスさせる力があるのかもしれない。

さて、日本のロータリークラブでよく歌われている歌は、「奉仕の理想」「我らの生業」「それでこそロータリー」「手に手つないで」といったところでしょうか。しかし、独自の歌をつくって、例会で歌っているクラブも少なくありません。クラブの歌が、ほかのクラブからメイクアップに訪れたロータリアン（ビジター）や、卓話者などのゲストを歓迎するための歌をつくっていて、例会に出席をすると歌ってくださるクラブもあります。ロータリーソング以外の歌を取り入れているクラブもあります。どのような歌が歌われているのかと言えば、会員の年齢によって違って来るようです。

大きな声で楽しく歌を歌えば、楽しいひとときを過ごすことができるでしょう。

## 委員会報告

### 親睦活動委員会

親睦活動委員長 那須 宗弘

「例会変更及び最終例会・親睦家族会のご案内」



#### 1. 例会開催日時変更

6月20日(金)の例会は、6月21日(土) 午後5時30分 PANTARONに変更

#### 2. 最終例会・親睦家族会

夏が間近に感じられる時期となりましたが、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本年度最終例会及び親睦家族会を下記の通り開催いたします。どうぞお誘いあわせの上ご参加下さいますようお願いいたします。

#### 記

日 時： 平成26年6月21日 (土)

受付 午後5時 開会 午後5時30分

場 所： PANTARON

参加者： 会員・準会員及びご家族・ファミリー会員

登録料： 会員10,000円 家族8,000円

小学生以下 無料

☆出欠は6月6日(金) 例会時までにお返事下さいませ。

☆集金は6月13日(金) よりさせて頂きます。

## S A A 報告

堺東南 RC 鶴 啓之様 本日はよろしくお願いたします。

嶽盛和三会員 5月11日～12日に釜石東 RC50周年に行っていました。

復興は未だ大変な状況です。

中田 学会員 鶴様ようこそ堺北 RC へ。チョットいい事がありました。

塩見 守会員 鶴様ようこそ堺北 RC へ。

藤永 誉会員 300km 完走できました。17時間30分でした。4,000キロカロリー食べて、1.5kg 痩せました。

合 計 13,000円

## 幹事報告

(1) 本日の配布物 週報

(2) 幹事報告

次週は第3回次年度の為のクラブアッセンブリーです。次年度各委員長様、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

# 他クラブ活動報告

「桜木の手入れ」(有田ロータリークラブ)

中高生と共にみかん海道の桜木の手入れと清掃

地元箕島中学のバスケット部3年生の6名と先生1名、そして箕島高校生徒会の6名と先生2名の協力のもと、春の光の中、有田ロータリー恒例の有田みかん海道・桜木の手入れを行いました。海岸を一望するドライブウェイで10余年前植樹した桜木を整枝し、付近をクリーンアップするプロジェクトです。溝に溜まっていた泥を丁寧に取り除くことができ、また通行の妨げになりかけていた桜の枝を手入れすることが出来ました。

ロータリアン一人一人が奉仕への思いを行動で示すことにより、学生達に奉仕の素晴らしさを体験してもらい、共に心地いい汗と疲れを実感してもらえたと思います。作業終了後の参加者全員での昼食会では、みかん海道から見える海、爽やかな春風の中のお弁当は格別だったと思います。(地区ホームページより)



## WHOが東南アジア地域のポリオ撲滅宣言

3月27日、世界ポリオ撲滅計画(GPEI)は、WHO(世界保健機関)が東南アジア地域の国々でポリオが撲滅したことを祝いました。ポリオに終止符を打ち、そのことによって多くの利益がもたらされる、歴史的な出来事です。この地域の11か国(バングラデシュ、ブータン、北朝鮮、インド、インドネシア、モルディブ、ミャンマー、ネパール、スリランカ、タイ、東ティモール)には、約18億の人が住み、世界を6つに分けたWHOの地域で公式にポリオ撲滅が認められた4つ目の地域になります。

かつてポリオの撲滅が最も難しいと考えられていたインドで2011年1月13日を最後に発症していないことが、この地域での撲滅宣言を可能にさせました。スリランカ、モルディブ、ブータンなどの国では、すでにポリオが撲滅されており、この日が来るのを15年以上待っていました。

これらの国々でポリオを撲滅するために築き上げられた優れたシステムは、現在、ほかの保健優先事項を推進するために使われています。バングラデシュでは、義務付けられているワクチン(ジフテリア、破傷風、百日ぜき)の接種率が、ポリオ撲滅活動を強化していた2000~2012年の間に82%から96%に上昇。ネパールでも74%から90%に上がりました。またポリオサーベイランス(調査監視)のネットワークを生かして、はしか、新生児破傷風、日本脳炎のような、ワクチンで予防可能な疾病の感染経路を追跡している国もあります。

東南アジア地域においてポリオ撲滅が達成できたのは、ワクチン投与キャンペーンを実施するという各国政府の前例のない取り組みのたまものです。キャンペーンでは、何百万人という地域の保健従事者やボランティアたちが、街の最もにぎやかな通りに面した家から、辺境の地にある家に至るまで、一軒一軒献身的に訪問し、ワクチンを受けた子どもの総数は、17年間で75億人に上りました。1995~2012年の間、ポリオプログラムは同地域のいたるところで189の全国的なキャンペーンを行い、130億ダースの経口ワクチンが投与されました。

同地域の撲滅の達成は、2018年までにポリオのない世界にするというGPEIの目標への大きな一歩となりました。感染を阻止し、ワクチン投与率を上げ、子どもの死亡率に影響を及ぼす長期的な計画であるにもかかわらず、新しい取り組みや、新たなパートナーのおかげで世界的に前進しています。しかし、この進歩もポリオが残る3か国(アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリア)で撲滅しない限り、危険にさらされています。近年、中

東とアフリカの角でポリオが突然発症したことは、ポリオがすべての地域を脅威にさらしていることを思い出させてくれました。これらのポリオ常在国でポリオが撲滅するまで、すべての国でポリオウイルスが流入した際には迅速に見つけ、その影響を最小限にするために、細かいサーベイランスを継続し、高いワクチン投与率を保つ必要があります。現在、世界の人口の80%は、ポリオがなくなったとされる地域に住んでいます。今までになく目標に近づいています。

GPEIは、各国政府、WHO、国際ロータリー、CDC（アメリカ疾病対策センター）、ユニセフが主導し、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団など官民の連携パートナーによって支援されています。1988年GPEIが発足した当時、ポリオで命を落としたり手足が不自由になったりする子どもは年間35万人いましたが、2013年には99.9%減少し、406件の発症が報告されるまでになりました。

(ROTARY JAPAN WEB より)